

オーガニック給食協議会だより

Vol.1

(2023年12月27日)

全国オーガニック給食協議会設立と会報誌の発行に寄せて

全国オーガニック給食協議会 代表理事 ●太田 洋 いすみ市長



令和5年6月に全国オーガニック給食協議会が設立され、代表理事を拝命しました千葉県いすみ市長の太田洋です。この度、会報誌の発行にあたりまして、一言、ご挨拶をさせていただきます。

昨年10月、中野ゼロホールにて開催されました「全国オーガニック給食フォーラム」が大きな成功を収めたことを受けて、学校給食の有機化を全国で実現させようという機運のもと、多様な主体の連携創出を企図して、全国オーガニック給食協議会が設立されました。全国的な関心の広がりから、設立初年度にも関わらず、12月1日現在の会員総数は、自治体・団体109、個人会員246を数えるまでに増えております。この間、設立の趣旨をご理解いただき、ご加入いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

さて、協議会設立にあたり、具体的な活動方針として掲げられたテーマは大きく2つあります。一つは、全国オーガニック給食フォーラムの継続的な開催です。第1回全国フォーラムの開催により、関心の広がりにより一定の成果が得られているものの、まだまだ全国的な理解には至っておらず、今後も、全国的な理解、認知の拡大に向けて、最大限努力していく必要があります。

もう一つは、自治体ごとに行われている取組事例の共有です。地場産物の活用とならび有機食料を学校給食に使用していくための課題はたくさんあり、それら課題の一つ一つをどう乗り越えるのか、私たちは方策を学び合う必要があります。その他にも、会員の皆様から寄せられるご意見や世情に応じた取組をすすめ、生産地を中心に全国のお手本となる数々の先行モデルを創出し、水平展開を図るとともに、都市部の学校給食においても、オーガニック食料利用の扉を開くことを標榜しております。

実現に向けて惜しみない努力を続けてまいりますので、会員の皆様におかれましては、引き続きご理解、ご協力のほど、お願い申し上げます。

副代表理事 | 秋山 豊

あき やま ゆたか

常陸農業協同組合 代表理事組合長

この度、設立総会で副代表理事に選任された茨城の秋山でございます。

全国には、有機農業に取り組む先進JAが多数ありますが、2年前から地元の常陸大宮市と連携して、市内小中学校給食の完全オーガニック化を目指して活動を開始した勢いをかわれて、JAからの副代表理事となりました。宜しくお願致します。JA常陸では、子会社であるアグリサポートが、昨年1haの有機野菜の生産に挑戦し茨城有機農業技術研究会の、松岡尚孝先生を指導者として、ジャガイモ、人参、甘藷等 有機栽培に成功し、同市の学校給食に供給しました。今年是有機JAS認証(転換期)を取得し、野菜、大豆の生産4haに挑戦しています。さらに米についても、栃木の民間稲作研究所の指導のもと、4haの生産に挑戦し、食味85の大変おいしいお米をつくりました。今後とも宜しくお願い致します。



常陸農業協同組合



【JA常陸の沿革】

平成26年に茨城の県北5JAが、二次合併し誕生した大型JAです。
正組合員数: 30,584人・准組合員数21,569人/貯金残高: 3,244億円/
販売高: 82億円(米15億 園芸14億 畜産物23億 直売所29億)

【JA常陸の経営理念】

農を通じて、真の豊かさ、真の生きがい地域の人々とともに創出します。

【JA常陸の使命(ミッション)】

①「一人は万人のために、万人は一人のために」の精神に基づき、相互に助け合い、支え合いながら地域社会の発展に貢献します。

②多様な農業を守り、消費者に安全・安心な畜産物・加工品を安定的に供給します。

③地域住民・組合員の一歩前を歩き、豊かさと夢のある暮らしを提案します。



URL <https://www.ja-hitachi.jp/contents/about/>



副代表理事 | 大信 政一

おお のが まさ かず

パルシステム生活協同組合連合会 理事長

学校給食の有機農産物の利用を全国で実現していくために、自治体、JA及び農業関係団体、生協及び流通、市民団体という多様な主体の連携により、協議会が設立されたことは画期的なことです。物価やエネルギーの高騰が、生産者の生産現場や組合員の暮らしに大きな影響を及ぼしています。

このままの状況が続くと国内で生産者は農産物を作れなくなります。生協としても組合員・生産者とともに、国内生産者の保護や育成強化、そして食料自給率向上につき政策的な働きかけを行っているところです。

生協だけの運動にとどまらず、地域に輪を広げ、学校給食を有機化することにより、有機農業生産者が増えるように寄与していきたいと考えています。



パルシステム生活協同組合連合会

pal system

パルシステム連合会は、首都圏を中心に1都12県で活動する生協で構成する連合会組織です。主に個別宅配による商品の供給事業や共済・保険事業、福祉・電力事業などを展開しています。

パルシステム2030ビジョン「[たべる][つくる][ささえあう]とにもいきる地域づくり」では最初に「たべる」を挙げ、食の安全や食料自給率など食をとりまく社会課題に取り組んでいます。

また「つくる」では全国401の産直産地と連携して、農業のもつ多面的な価値を見直しなが持続可能な環境保全・資源循環を推進し、食と農をつないで豊かな地域社会づくりを目指しています。



URL <https://www.pal.or.jp/>



開催報告 2023年6月2日 設立総会レポート

全国オーガニック給食協議会が設立されました

全国オーガニック給食フォーラム(令和4年10月26日開催)の歴史的な成功を経て、令和5年6月2日、全国オーガニック給食協議会設立総会が執り行われました。お忙しい折、会場まで足を運んでいただいた皆様やオンラインでご参加いただいた皆様、会場提供にご協力くださいましたパルシステム生活協同組合連合会様に感謝申し上げます。

本会は、近年、急速に関心が高まっている学校給食の有機化を全国ですめるべく、自治体、農業協同組合及び農業関係団体、生活協同組合及び流通、市民団体及び有志者等、多様な主体で構成され、設立されています。設立総会の冒頭、全国オーガニック給食フォーラムで実行委員長を務めた千葉県いすみ市太田洋市長から、次の未来に向かって、子どもたちの健康、自給率アップと国産国消、持続可能な新しい農業で新しい社会の形を作っていこうと新たな時代の幕開けを感じる力強いご挨拶をいただきました。続いて、全国オーガニック給食フォーラムの主催者としてご尽力くださいました元農林水産大臣でオーガニック給食マップ代表の山田正彦様より、協議会設立の背景や全国オーガニック給食フォーラムの開催結果をご紹介いただきました。続く議事では、規約や役員構成について話し合わせ、選出されました役員は以下のとおりとなりました。



▲全国オーガニック給食協議会設立総会 会場風景



▲冒頭で挨拶された
いすみ市 太田洋市長



▲設立背景を語られた
オーガニック給食マップ 山田正彦代表

全国オーガニック給食協議会役員

役職	構成	職・氏名
代表理事	自治体	いすみ市長 太田 洋
副代表理事	JA 及び農業関係団体	常陸農業協同組合 組合長 秋山 豊
副代表理事	生活協同組合及び流通	パルシステム生活協同組合連合会 理事長 大信 政一
副代表理事	JA 及び農業関係団体	特定非営利活動法人全国有機農業推進協議会 理事長 下山 久信
監事	自治体	常陸大宮市長 鈴木 定幸
監事	自治体	小山市長 浅野 正富
監事	市民団体	オーガニック給食マップ 代表世話人 山田 正彦

(任期：令和5年6月2日より一年間、再任もあり)

アーカイブ

※アーカイブの共有は会員限定になります

TOPICS

オーガニック給食を全国に実現する議員連盟主催による意見交換会が2023年12月6日に開催されました!

12月6日に衆議院第一議員会館にて、オーガニック給食を全国に実現する議員連盟主催による意見交換会が行われました。本会からは代表の太田いすみ市長、副代表の秋山JA常陸組合長、大信パルシステム連合会理事長、下山全有協理事長、監事の鈴木常陸大宮市長と事務局が参加、議連からは超党派で50名近くの国会議員が、また農水省、文科省も参加しました。冒頭、本会役員からオーガニック給食にかける思いや国の支援を訴える発言などがあり、議員からは活発な質問が続きました。終盤には、学校給食で有機農産物を使用することが、学校給食法や国の食育推進基本計画に位置付けられるべきという意見が出されました。今回は第1回目ということで、具体的な話までは出ませんでしたが、今後に期待が集まります。



開催報告 2023年7月13日 いすみ市視察研修会レポート

7月13日に協議会主催事業として、学校給食に有機米を100%使用している千葉県いすみ市を会場にした視察研修会が行われました。お忙しい中、全国から80名と定員を満す参加があり、さらにオンラインでも76名の方にご参加いただきました。

研修会では、冒頭、会場地を代表し、太田洋いすみ市長から歓迎のご挨拶がありました。いすみ市では、有機米の学校給食利用や有機農業の推進が当初から計画されていたわけではなく、兵庫県豊岡市のコウノトリと共生するまちづくりをお手本として、自然と共生する地域づくりをまちぐるみですめる中、自然と共生する農業として有機稲作に取り組み、有機稲作に取り組みれた農家の想いに応えるかたちで、学校給食に利用されたという経緯が紹介されました。つづく事例紹介では、事業開始時から担当している農林課の鮫田班長から、いすみ市の農家、JA、県、外部講師との協働のもとに推進されている生産体制をはじめ、学校給食への利用の仕方や効果、関連してまちぐるみで行われている教育活動や自然保護に通じる普及啓発の取組等が詳細に報告されました。つづく報告では、いすみ市の協議会における環境分野のけん引役として有機農業推進に携わっている房総野生生物研究所の手塚幸夫さんより、いすみ市の有機農業推進を支えている生物多様性地域戦略の重要性や、地域戦略に従い、有機農業が学校給食をはじめとする教育施策や環境施策、地域振興などいすみ市の様々な施策に生かされていることが報告されました。

第2部は、いすみ市で当初から有機稲作に取り組んでいる農事組合法人みねやの里に会場を移しました。房総の美しい里山に囲まれた峰谷(みねや)集落には15haの水田があり、近年の厳しい経営環境の中、先祖から受け継いだ水田を守っていくため、集落みな一つの法人となって環境に配慮した農業を営んでいます。代表の矢澤喜久雄さんは、いすみ市で農業活性化のために始まった有機農業推進に共鳴し、有機稲作に最初にチャレンジするも失敗、その後、市が民間稲作研究所の稲葉光國氏を指導者に迎えたことから、生産技術を学び、一緒に取り組んだ農家とともに学校給食での利用を提案しました。参加者からは、有機米の実際の作り方などの質問があり、矢澤代表は、質問の一つ一つに丁寧に答え、参加者の理解が深まりました。実施後のアンケートでは229件もの質問や感想が寄せられており、その一つ一つに回答が付けられ、参加者をはじめ協議会全会員に配布されています。会場地としてご協力いただきましたいすみ市の皆様に感謝申し上げます。



▲第1部より／いすみ市農林課 鮫田班長と房総野生生物研究所手塚幸夫さん



▲第1部より／会場からの質疑応答の様子



▲第2部 峰谷集落お米づくり見学より／美しい田園を背景に語る農事組合法人みねやの里 矢澤喜久雄代表

<参加者の感想より>

有機米の取組みスタートからここまでの流れを丁寧に詳しく説明いただき、大変参考となりました。特に学校給食への提供手法については、我々が今抱えている課題の大きなヒントとなりました。

とても詳しくさらに端的にまとめられていて、非常に満足できました。特に、これまでの経緯、組織づくり、流通など、分かりにくく知れなかった点を説明頂けたので、非常に役に立ちました。これから、私たちの地域でどのように取り入れていったら良いのか参考にしたいと思います。

生物多様性と有機農業がまちづくりに体现され、集約しているのがいすみ市の行政の根幹を成すものだとうれしくわかりました。いすみ市生物多様性戦略を打ち出したのが、SDGs よりも8カ月前だった事に感銘を受けました。

アーカイブ

※アーカイブの共有は会員限定になります

2024年2月1日
開催決定!

全国オーガニック給食協議会研修会 理想の給食を目指して

～献立に有機食材を入れるのが先決～

後援：文部科学省

子どもたちに、最高の給食を届けたい!と、全国各地で給食を良くする活動をされている方々がいます。

全国オーガニック給食協議会は、そのヒントを学び、議論し、各地での個性あふれる理想のオーガニック給食の実現を目指す研修会を開催します。

協議会の会員をはじめ、全国で活動される皆様に、さあやってみよう!と思ってもらえるような、

モチベーションと知恵が詰まった研修会にしたいと思っています。

開催概要

■日時：2024年2月1日(木) 13:00～17:15 ■場所：武蔵野市スイングホール11階レインボーサロン(東京都武蔵野市境2丁目14-1スイングビル)

■定員：会場参加130名・オンライン参加：450名(※アーカイブ配信は協議会会員のみ) ■申込(先着順) ■参加費：無料

■申込期間(会場参加)：協議会会員(自治体)：2023年12月8日(金)～12月26日(火) ※終了しました

協議会会員(団体、個人)：2023年12月27日(水)～1月16日(火) 一般：2024年1月17日(水)～1月22日(月)

■申込期間(オンライン)：2023年12月8日(金)～1月31日(水)

■問い合わせ Zenkoku.Risou.no.Kyushoku@gmail.com

■終了後、会場にて交流会があります(参加費5,000円、有機弁当ドリンク付きアルコールあり)

■交流会申込み締切：2024年1月22日(月)(前日・当日はキャンセル料金発生)

■詳細・申込はこちらから https://www.city.isumi.lg.jp/soshikikarasagasu/norinka/organic_farming_promotion/5987.html



副代表理事 | **しも やま ひさのぶ** 下山 久信 全国有機農業推進協議会 理事長

【今なぜ学校給食のオーガニック化を推進するのか】

食料・農業・農村基本法改正の件で、毎週、霞ヶ関・永田町へロビー活動を展開するために通っているが、この間、三里塚から東京駅日本橋口までの高速特急バスが、運転手不足のため8便から4便に減便になってしまいました。この問題は全国的に拡大しているようです。



いま日本が直面している困難な問題とは？ [1. 国の人口政策は失敗 / 2. 全産業の人手不足 / 3. 危機感がない異次元の少子化対策 / 4. こども食堂の増加→所得格差の拡大] 2022年の出生数77万人しか生まれていない。1700以上の市町村自治体で割ると平均1市町村450人位になる。このことについて、政府・国は緊張感をもって政策を推進しようとしているのか。

結論的に言えば、この国の将来は子ども達にかかっており、いのちの食べ物を我々が責任をもって供給できるのかが問われているのです。子ども達の未来のために、学校給食のオーガニック化を推進する重要性を強く感じるこのごろです。

監事 | **すず き さだ ゆき** 鈴木 定幸 常陸大宮市長

この度、監事を拝命しました常陸大宮市長の鈴木定幸です。

常陸大宮市では、「子どもたちに最高の給食を届けたい」この思いから、「茨城県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画」における「特定区域」に設定された、有機農業モデル団地を中心に市内での有機農産物の生産を加速化させる中、今年11月にオーガニックビレッジ宣言を行いました。



食は、身体と心をつくる生命の源であり、安全で安心な食を提供していくことは私たちの世代に課せられた重要な使命であることに加え、今や世界の趨勢となったオーガニック学校給食は、人々の健康と持続可能な農業の振興に必ずや貢献していくものと確信しております。

今後もJA常陸と連携し、有機農産物の生産から消費までを地域全体で推進する取り組みを全力で展開するとともに、協議会による調査・研究・意見交換を通じて、オーガニック学校給食化を全国で実現させるため取り組んでまいります。

監事 | **やま だ まさ ひこ** 山田 正彦 オーガニック給食マップ 代表世話人

学校給食の世界の流れはオーガニックになってきました。

私が4年前に韓国に行った際にも、学校給食が無償・オーガニックになっているのに衝撃を受けました。以来各地を回っては、学校給食の無償オーガニック化を訴えてきました。



日本の農業に希望を与えます。

これからも一緒に頑張りましょう。



特定非営利活動法人
全国有機農業推進協議会



特定非営利活動法人 全国有機農業推進協議会 (略称 全有機) が目指すのは、有機農業が全国に普及定着すること、日本の食と農と地域を健全に再生させること、人と自然が共生する豊かな世界を実現させることです。

有機農業の推進と日本の食と農と地域の再生を願う、農業者・消費者・学識経験者・団体などが幅広く連携・協力していくネットワーク組織として、有機農業の発展に役立つようさまざまな活動を行なっています。

- ① 有機農業推進に関する政策提言活動
- ② 有機農業に関する普及啓発活動
- ③ 有機農産物の流通を推進する活動
- ④ 有機農業者と消費者の交流促進
- ⑤ 国内外の有機農業等に関する情報収集と調査研究

URL <https://zenyukyo.or.jp/>



監事 | **あさ の まさ とみ** 浅野 正富 小山市長

小山市の南端にあるラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」では、4年連続コウノトリのヒナが誕生しました。遊水地だけでなく、周辺に広がる水田を含めた田園環境がコウノトリの良好な生息環境を支えています。そこでは10年以上「ふゆみずたんぼ」による有機稲作が行われてきました。



小山市の有機稲作は、令和5年18ヘクタール、52トンでしたが、令和9年に学校給食の半分を有機米にするため、30ヘクタール、100トンを目指しています。

学校給食の有機化を手始めに、有機農業の主流化への取り組みを、全国のみなさまとしっかりと進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。



オーガニック給食マップ



全国でオーガニック給食推進に取り組んでいる団体・個人向けにオーガニック給食に関する国内及び世界の情報を発信するWebサイトを2021年に立ち上げ運営をしています。その中で、関係者がリアルに集う場として2022年に第1回全国オーガニック給食フォーラムを開催。事務局として実行委員会をつくって実施しました。すべての子どもたちに一日一食でもより安心な食べ物、それにより子どもたちの心と身体の健康を守ること、同時に公共調達が増えることにより有機農業栽培が増えることを目指し、多くの方々とつながって相談しながら進めてきています。



URL <https://organic-lunch-map.studio.site/>



会員募集中

全国オーガニック給食協議会
自治体・団体／個人会員募集中！

全国オーガニック給食協議会は、オーガニック給食の実現を目指す、自治体、JA・農業関係団体、生協・流通関係団体、市民団体、有志個人による全国レベルの協議会です。会員の皆様からいただく会費を活動資金に、全国オーガニック給食フォーラムの定期開催や研修会の開催、取組事例の共有、会員同士の活発な交流を行っています。すでにオーガニック給食を進めている地域やこれから進めたい地域、たくさん会員を増やすことで、農村、都市に関わらず全国的なオーガニック給食の実現を目指します。

入会方法

ホームページより会員登録申込書をダウンロードしていただき、必要事項を記入し、Eメール(seisan@city.isumi.lg.jp)へお送りください。申し込み受付後、会費の請求書をお送りします。併せて関係行事のご案内等を送らせていただきます。

年会費

自治体・団体：2万円／個人：2千円

※毎年4月から翌年3月までの1年分です。2～3月に入会の場合、4月からの次年度分をはじめての会費といたします。

【事務局】千葉県いすみ市農林課有機農業推進班

〒298-8501千葉県いすみ市大原7400-1

TEL: 0470-62-1515 FAX: 0470-62-2836 Eメール: seisan@city.isumi.lg.jp

【ホームページ】https://www.city.isumi.lg.jp/soshikikarasagasu/norinka/organic_farming_promotion/5987.html

